

日野市公の施設の指定管理者市民評価に係る審議報告書

平成 30 年 7 月 4 日

日野市指定管理者市民評価委員会

平成 30 年 7 月 4 日

日野市長 大坪 冬彦 様

日野市指定管理者市民評価委員会
委員長 彦 谷 有 三

日野市指定管理者市民評価に係る審議報告書

日野市では、指定管理者制度を導入している公の施設の管理・運営について、市民の視点で評価を行うことを目的として、日野市指定管理者市民評価委員会設置要綱に基づき日野市指定管理者市民評価委員会（以下「市民評価委員会」という。）を設置しています。

平成 30 年度の市民評価委員会において我々 4 名が選出され、平成 26 年度に指定管理者制度を導入または更新した施設について、指定管理者の実績評価を厳正かつ公正に審査を行い、このたび評価が終了しましたので、評価結果を次のとおり報告いたします。

なお、今年度の市民評価委員会は、日野市教育委員会指定管理者市民評価委員会と合同開催しました。

1 審査・評価対象施設及び指定管理者

- (1) 日野市市民の森ふれあいホール
日野市市民の森ふれあいホール共同事業体
- (2) 日野市立地区センター（全 66 施設）
株式会社 日野市企業公社
- (3) 日野市地区広場及び日野市遊び場（全 13 施設）
株式会社 日野市企業公社

2 指定期間

審査・評価対象施設	指定期間
日野市市民の森ふれあいホール	平成 26 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日 (5 年間)
日野市立地区センター	
日野市地区広場及び日野市遊び場	

3 委員会日時（日野市教育委員会指定管理者市民評価委員会と合同開催）

第1回 平成30年5月15日（火） 午後1時30分から午後2時00分まで
主な議題：委員長及び副委員長の選出、評価基準の決定、日野市八ヶ岳高原大成荘の施設概要の説明等

現地視察 平成30年5月15日（火） 午後2時00分から午後4時00分まで
視察施設：日野市市民の森ふれあいホール、福祉センター前児童遊園、日野市立まつばやし地区広場、日野市立新井地区センター、日野市立東神明地区センター

第2回 平成30年5月16日（水） 午後2時30分から午後4時30分まで
主な議題：指定管理者による報告及び質疑応答等
・日野市市民の森ふれあいホール
・日野市立地区センター

第3回 平成30年5月22日（火） 午後1時30分から午後4時20分まで
主な議題：指定管理者による報告及び質疑応答等、まとめ
・日野市地区広場及び日野市遊び場
・日野市立八ヶ岳高原大成荘

4 評価基準

日野市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例第4条第1号から同条第5号の基準に基づく、基本評価3項目（A評価）30点、施設評価4項目から5項目（B評価）30点の合計60点とする評価表を使用しました。各項目5点満点評価で行い、重要項目に倍率が設定されています。各委員の評価を合計して平均値を評価点としました。（小数点以下第2位を四捨五入）

- 5点 優れている
- 4点 概ね満たされ一部に優れたところがある
- 3点 概ねできている
- 2点 一部に課題がある
- 1点 課題も多く改善の必要がある

5 評価方法

我々市民委員は、各指定管理者からA、B評価基準に基づく説明及び質疑応答を行うとともに、指定管理者が退出の後、主管課との質疑応答も行い、指定管理者から提案のあった事業ならびに、協定締結時に市民委員が行った要望事項を含め、その履行状況等を確認し、審査・評価を行いました。

6 評価の結果

施設名	指定管理者	評価点 (60 点満点)
日野市市民の森ふれあいホール	日野市市民の森ふれあいホール 共同事業体	4 5 . 5
日野市立地区センター	株式会社 日野市企業公社	4 4 . 5
日野市地区広場及び日野市遊び場	株式会社 日野市企業公社	4 4 . 5

7 評価・意見・要望

○日野市市民の森ふれあいホール

- ・利用者等について、よくデータ分析している点は評価できる。
- ・集会室 2-4（調理室）の利用が少ないので、スポーツ大会等の打ち上げでの利用を促す等、活用方法を検討していただきたい。
- ・利用人数の目標達成をしたとのことだが、市の産業まつり等のイベントでの集客は、指定管理者の努力というわけではないので、別にして集計すべきと考える。
- ・事業報告書の「収支状況」の「修繕費」の金額と「修繕実施状況」にある金額の合計が合わない。収支状況の報告は、しっかり精査していただきたい。
- ・管理に係る本社経費と自主事業に係る本社経費は、分けて計上すべきである。

○日野市立地区センター

- ・指定管理者の連絡先の掲示が屋外にないところがある。緊急連絡の際など、屋外から連絡することも想定し、また、PR にもなるので、必ず屋外にも連絡先を掲示するようにすると良いのではないかな。
- ・事業報告書に添付されている利用状況の表に、各地区センターの規模（平米数等）の記載等、利用人数の妥当性がわかるものがあると評価しやすい。
- ・利用者の分析データがあるようなので、自主事業の開催場所の選定等、活用すべきである。

○日野市地区広場及び日野市遊び場

- ・良く点検、管理されており、評価できる。
- ・事業報告書の収支状況について、毎年同じ科目で、予算をとっていないのに決算に挙がっているものや予算をとっているのに決算額が「0（ゼロ）」となっているものがある。毎年経費がかかるものは、予算の段階から挙げておくべきである。また、事業収支が赤字にならないように、計画的に実施すべきである。
- ・修繕や防草シート張り等の作業報告一覧が挙げられているが、それに対する効果がわからない。それぞれの場所の特性に合わせて、どのレベルまで実施したのか、もっと安くできるのか、もっと高いレベルまでできるのか等がわからないと評価できない。評価するための基準を示していただきたい。

8 評価全体の総括（日野市教育委員会指定管理者市民評価委員会と合同）

今回の市民評価委員会は、平成 26 年度に指定管理者制度を導入した施設について、指定期間 5 年間のうち既に終了している平成 26 年度から平成 29 年度の 4 年間の実績を基に審査・評価を行いました。委員会では、指定管理者に対する質疑応答、主管課に対する質疑応答を行い管理・運営についてチェックをしました。

評価にも挙げましたが、どの指定管理者も、概ね一定の成果を上げており、一生懸命に様々な努力していることが感じられ、評価することができます。しかし、毎年度支出があるものに予算がつけられていない等収支状況が精査されておらず、より良い経営を目指す意識が低い等、いくつか改善点も見受けられました。

協定期間は残り少なくなりましたが、意見、要望として取り上げたいいくつかの点についても積極的に取り組んでいただき、更なる市民サービスの向上に努めていただくことを希望します。

（市民評価委員会の運営方法について）

- ・指定管理者からの説明（報告）は、主に強調したいことに絞り、全体の中で質疑応答の時間の割合を増やすことを検討していただきたい。
- ・日野市市民の森ふれあいホールや日野市立八ヶ岳高原大成荘のように事業規模の大きい施設については、質疑応答の時間を増やすことを検討していただきたい。
- ・各主管課で作成している B 評価（施設ごとの評価）は、稼働率向上のための取り組みを評価事項としているところと、そうでないところがある。全ての施設で評価事項とすべきと考える。

9 市民評価委員名簿

委員長	彦谷	有三
副委員長	吉澤	武子
	高橋	利彦
	坪島	尚